

平成28年度 事業報告

主な事業概要について

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

平成28年4月、熊本地震では甚大なる被害がもたらされました。3日間で約20回も震度7からの地震が発生し、尊い命と財産を多く失いました。我が国の自然環境の厳しさを思い知るとともに、国土強靱化への要請がさらに広がっていくと予想されます。

岐阜県内では、1月に高病原性鳥インフルエンザの感染が山県市内にて確認されました。国の指針により、感染確認から72時間以内に約8万羽もの養鶏の殺処分・埋却作業を終えなければならず、岐阜県職員・自衛隊とともに建設業者も緊急作業にあたり、防疫措置を完了させました。

当協会の活動としては、若年層入職促進のため平成13年から続けております建設技術講習会を関商工高等学校、岐阜総合学園高等学校、岐阜工業高等専門学校、中津川工業高等学校の4校で実施しました。8月の設立記念日には各技術委員会より研究成果を発表することが出来ました。発表内容のテーマ選定は、効率的かつ有効な手段の提案・提言を行う公益機関としての役割を常に意識するものとなりました。

また、岐阜社会基盤研究所による活動では、12月に熊本地震橋梁被害現地調査会へ参加し、熊本大学・九州地方整備局・NEXCO・三井造船鉄構エンジニアリングの方々により現地案内と被災状況の解説をして頂き、非常に有用な知見を広げる機会を得ることが出来ました。9月の研究発表会では、橋梁委員会により『環境共生型簡易縦坑掘削システム』と題して発表を行い、2月の意見交換会では、下水道委員会により『下水道管の再構築』の発表を致しました。

トンネル技術委員会

1. 活動方針

トンネルの維持修繕や環境問題及び新工法に関して調査研究を行い、県内業者の技術力向上を図る事と、適正工法の研究等を行い、トンネル施工に関してより質の高い社会資本整備・公共福祉の増進に寄与する事を目的としました。

2. 活動内容

県内業者の技術力向上の為に、以下のような活動を行いました。

I. 現場見学会の開催

トンネル工事における新しい技術等の情報を得るため、高山市内で施工されている中部縦貫道 上野トンネルの現場見学会を実施しました。

II. 技術発表会（当協会主催）への参加

『トンネルの長寿命化について』と題し、施工事例を交えてトンネル維持補修に関する技術を発表しました。

III. 建設技術講習会への参加

岐阜県立中津川工業高等学校 建設工学科 1 年生 39 名を対象に『社会基盤を支えるトンネル技術者』というテーマで講習を行いました。

ダム技術委員会

1. 活動方針

本委員会はダム工事及び砂防堰堤工事に関する新技術・新工法・環境対策等の調査研究活動の実施、既存堰堤の維持、管理のあり方について、調査研究し会員相互の技術力向上を図る事を目的としました。

2. 活動内容

I. 技術発表会（当協会主催）への参加

「砂防堰堤の果たす役割」というテーマで、過去に起きた災害事例において砂防堰堤が果たした効果を紹介するとともに、スリット型堰堤への移行や今後の維持管理の問題点等について発表しました。

II. 現地調査の実施

技術発表会に先立ち、過去に試験施工した 2 現場（中津川市加子母白谷等）の現地調査を継続し行いました。

Ⅲ. 建設技術講習会への参加

平成28年9月26日、国立岐阜工業専門学校 環境都市工学科 1～3年生131名対象で、『環境にやさしいダム造り』というテーマで講習を行いました。この講習では環境をキーワードとして、過去の災害事例をとらえてダムの必要性、種類、施工中における環境配慮、また、ダム・堰堤の施工方法や種類について説明しました。

下水道技術委員会

1. 活動方針

近年、下水道施設の劣化が進み、耐震対策及び維持・修繕（更生）の課題が多い中、新技術等を採用した施工が県内企業にて出来るよう考案・研究し、技術力の向上を目的としました。

2. 活動内容

Ⅰ. 下水道の維持・修繕（更生）工事に関する施工方法の検討

管更生工法や各施設の修繕方法の情報収集を行い、新技術を研究し、技術力の向上を目指しました。

Ⅱ. 自然災害に対応した、下水道の検討

県内企業で出来る新技術（製品）の施工習得のため、情報収集を行い、研究し各委員の技術力向上を目指しました。

Ⅲ. 施工・製品の新技术の開拓

各講習会や展示会などに各委員が積極的に参加・取り組みを行い、有益な情報を取得し、研究テーマに活かしました。平成28年7月26日～29日に実施された下水道展（名古屋）に参加し新技術等の資料収集を行い、今後の研究に活用します。

Ⅳ. 建設技術講習会への参加

関商工高等学校 建設工学科 2年生40名、岐阜工業高等専門学校 環境都市工学科 1～3年生131名の2校を対象に、『子孫に残そう美しい環境』というテーマでわかりやすく動画をまじえ講

習を行いました。

V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『下水道管の再構築(管更生工法)』の発表を行いました。

VI. 岐阜社会基盤研究所 自由討論会及び報告会への参加

岐阜社会基盤研究所へ参加し発表しました。

橋梁技術委員会

1. 活動方針

県内建設企業の技術力向上を目指すと共に、会員相互のコミュニケーションをはかり、情報交換を密にして、発注者に対して技術力をアピールし、地域への貢献につながるよう活動しています。

2. 活動内容

I. 環境共生型簡易縦坑掘削システムの試験施工

今年度までに実施した試験施工の結果を踏まえ、より効率的で現場に即したシステムの構築を実現するため、工場試験と現地での試験施工を実施し、実用化に向けた取り組みを行いました。

II. 建設技術講習会への参加

岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー系列2年生40名対象で、『橋梁とは！？』というテーマで講習を行いました。

III. 技術発表会（当協会主催）への参加

『小規模橋梁の点検修繕について』の発表を行いました。

IV. MEを活用した小規模橋梁等の点検・修繕業務について

各委員の技術力の向上を目指し、勉強会を開催し、『六地藏橋』の現場見学会を実施しました。

V. 岐阜社会基盤研究所主催の研究発表会への参加

『環境共生型簡易立坑掘削システム』の発表を行いました。

自然共生技術委員会

1. 活動方針

自然共生技術委員会は、2つの活動を中心に実施してまいりました。

1つ目は近い将来建設業に携わる可能性のある学生を対象にした出前講習の「建設技術講習会」です。2つ目は近年の自然災害のリスクの高まり、治水と環境保全の両立の難しさ、環境保護に対する意識向上を図り、発注者への積極的な提言を行うべくテーマとした「環境に配慮した川づくりに関する調査研究」です。

2. 活動内容

I. 建設技術講習会への参加

岐阜県立岐阜総合学園高等学校 環境テクノロジー系列2年生38名と中津川工業高等学校 建設工学科1年生39名対象で『「地域を守る建設業」～防災と豊かな自然との共生のために～』というテーマで講習を行いました。高校生に対しわかりやすく、建設業が地域の安全や環境を守るため、大いに活躍している大切なやりがいのある仕事であることを強調して、建設業という進路を積極的に検討するように、講習を行ってまいりました。

II. 環境に配慮した川づくりに関する調査研究

災害復旧事業で多自然川づくりにおけるコンクリート護岸に取り組む際のガイドラインとして 国土交通省より平成26年3月に改定された「美しい山河を守る災害復旧基本方針」に対応した製品や事例の調査・研究をおこないました。

平成28年5月17日に各務原市川島の河川環境楽園内にある基本方針に対応したブロック展示場で アイケイコンクリート 伊藤技術課長さんより説明を受け勉強会を開催しました。そして、平成28年11月16日に基本方針に基づき施工された土岐川の完成工事現場において護岸ブロックの実態調査をしました。

Ⅲ. 技術発表会（当協会主催）への参加

『環境に配慮した川づくりに関する調査研究』の発表を行いました。

安全・環境委員会

1. 活動方針

社会基盤整備・維持管理の担い手として、労働安全・環境の改善策の提案・指導、意識の向上及び自然環境問題への対応・改善を目的に活動致しました。

2. 活動内容

I. 安全環境パトロールを実施

安全対策、省資源・省エネルギーへの取り組み、環境汚染の防止対策、自然環境への取り組み等をチェックシートに基づき指導・改善を行いました。

II. 合同安全講習会に参加

労働災害の防止についての研修を行いました。

III. 各種環境フォーラム等への参加

びわ湖環境ビジネスメッセ2016及び建設技術フェア2016 in 中部への研修会を実施し、安全・環境対策の知識向上を図りました。

IV. 建設技術講習会への参加

関商工高等学校建設工学科2年生40名対象に『現場における安全と環境に対する取り組み』というテーマで、講習を行いました。

V. 技術発表会（当協会主催）への参加

『現場における安全と環境に対する取り組み』の発表を行いました。

VI. 研究発表会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

各構成団体が行った研究成果にて知識の向上を図りました。

企画広報委員会

1. 活動方針

各委員会における研究・開発の成果を研修会等の企画・開催をすることにより建設産業の役割、地域の基盤整備に貢献・社会のニーズに応えるべく活動をしてまいりました。

また、公益法人としての事業目的の一つとして「学校関係者及び生徒に建設技術の素晴らしさを広く学ぶ機会を創出する」ことの趣旨に則り、各委員会から建設系学校に講師を派遣し、建設技術講習会の開催をしました。

2. 活動内容

I. 建設技術講習会の開催

- 1) 平成28年7月11日、関商工高等学校建設工学科2年生40名対象に講習会を開催しました。

講義は、下水道技術・安全環境委員会にて実施しました。

- 2) 平成28年9月14日、岐阜総合学園高等学校総合学科環境テクノロジー系列2年生38名対象に講習会を開催しました。

講義は、橋梁技術・自然共生技術委員会にて実施しました。

- 3) 平成28年9月26日、岐阜工業高等専門学校環境都市工学科1年生41名、2年生44名、3年生46名対象に講習会を開催しました。

講義は、ダム技術・下水道技術委員会にて実施しました。

- 4) 平成28年12月13日、中津川工業高等学校1年生39名対象に講習会を開催しました。

講義は、トンネル技術・自然共生技術委員会にて実施しました。

- 5) 本講義前に協会理事より「建設業のしくみ」と題し、実社会での【土木工事・建築工事】、【公共工事・民間工事】等の分類説明、また【発注機関・設計会社・施工会社】の係わりを分かり易い言葉で説明しました。

II. 自由討論会・意見交換会（岐阜社会基盤研究所主催）への参加

平成29年1月24日に岐阜大学サテライトキャンパスにおいて開催された自由討論会・意見交換会へ参加しました。

III. 広報活動の実施

各委員会の活動・研究成果などを一般の方々へ広く知っていただくために、パンフレットの作成・自前のホームページの運用を通じ広報活動に努めました。

VII. 技術発表会（当協会主催）への参加

平成28年8月8日にサンレイラ岐阜において開催された技術発表会へ参加しました。